



横浜市立大学 エクステンション講座 「環境配慮と、企業ブランドの関係」

富士ゼロックスの環境経営

～横浜みなとみらい事業所での取り組みを中心に～

2017年7月20日

富士ゼロックス株式会社

総務部 環境経営グループ 宮本育昌

© 2017 Fuji Xerox Co., Ltd. All rights reserved.



本日はお話しすること

1. 富士ゼロックスの概要
2. 富士ゼロックスの環境経営
3. 富士ゼロックスの取り組み事例

© 2017 Fuji Xerox Co., Ltd. All rights reserved.

1



当社の概要

当社の概要

創立：	1962年2月20日
資本金：	200億円
株主：	富士フィルムホールディングス(75%) ゼロックス・リミテッド(25%)
従業員数：	47,357人(2017年3月 連結) 8,172人(2017年3月 単独)

販売/サービス活動地域



アジアパシフィック地域は直接の商品提供
その他の地域はXerox Corporationへの製品供給

業績



© 2017 Fuji Xerox Co., Ltd. All rights reserved.

2



© 2017 Fuji Xerox Co., Ltd. All rights reserved.

3

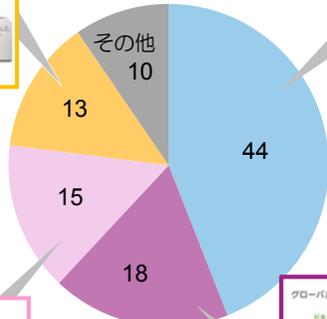


事業の概要

プロダクションサービス事業



2016年度売上高構成比



オフィスプロダクト事業



オフィスプリンター事業



グローバルサービス事業



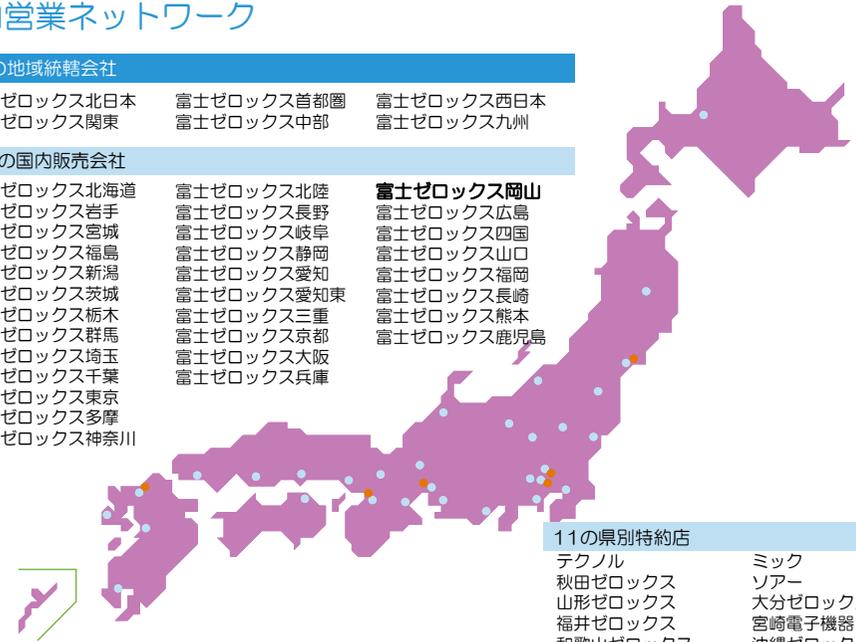
国内営業ネットワーク

6の地域統轄会社

富士ゼロックス北日本 富士ゼロックス関東	富士ゼロックス首都圏 富士ゼロックス中部	富士ゼロックス西日本 富士ゼロックス九州
-------------------------	-------------------------	-------------------------

31の国内販売会社

富士ゼロックス北海道 富士ゼロックス岩手 富士ゼロックス宮城 富士ゼロックス福島 富士ゼロックス新潟 富士ゼロックス茨城 富士ゼロックス栃木 富士ゼロックス群馬 富士ゼロックス埼玉 富士ゼロックス千葉 富士ゼロックス東京 富士ゼロックス多摩 富士ゼロックス神奈川	富士ゼロックス北陸 富士ゼロックス長野 富士ゼロックス岐阜 富士ゼロックス静岡 富士ゼロックス愛知 富士ゼロックス愛知東 富士ゼロックス三重 富士ゼロックス京都 富士ゼロックス大阪 富士ゼロックス兵庫	富士ゼロックス岡山 富士ゼロックス広島 富士ゼロックス長野 富士ゼロックス四国 富士ゼロックス山口 富士ゼロックス福岡 富士ゼロックス長崎 富士ゼロックス熊本 富士ゼロックス鹿児島
---	---	--



11の県別特約店

テクノル 秋田ゼロックス 山形ゼロックス 福井ゼロックス 和歌山ゼロックス ケー・オー・エイ	ミック ソアー 大分ゼロックス 宮崎電子機器 沖縄ゼロックス
---	--



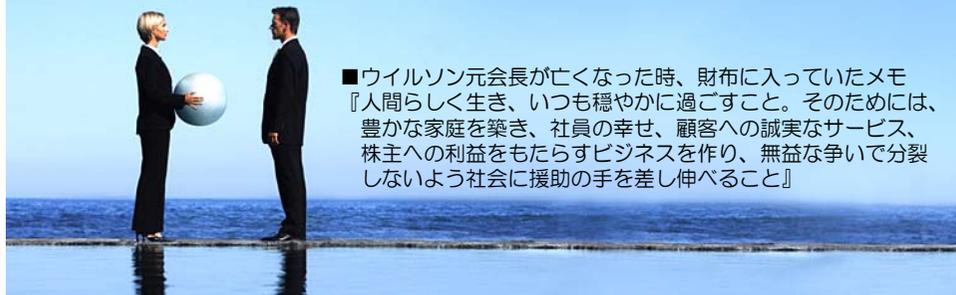
ゼロックス・フィロソフィー



“Our business goal is to achieve better understanding among men through better communications.”

我々の事業の目的は、より良いコミュニケーションを通じて、人間社会のより良い理解をもたらすことである。

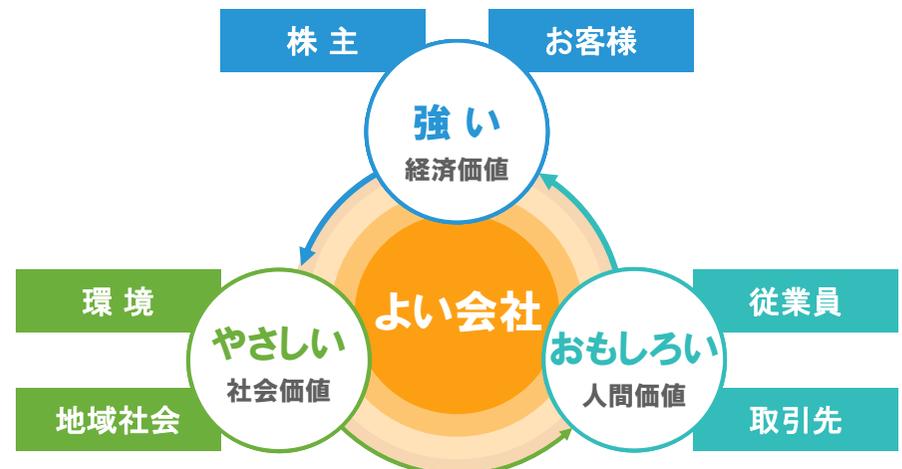
XEROX創業者 J.C.ウィルソン (1909-1971)



■ウィルソン元会長が亡くなった時、財布に入っていたメモ『人間らしく生き、いつも穏やかに過ごすこと。そのためには、豊かな家庭を築き、社員の幸せ、顧客への誠実なサービス、株主への利益をもたらすビジネスを作り、無益な争いで分裂しないよう社会に援助の手を差し伸べること』



「よい会社」構想 (1992年制定)



富士ゼロックスの環境経営

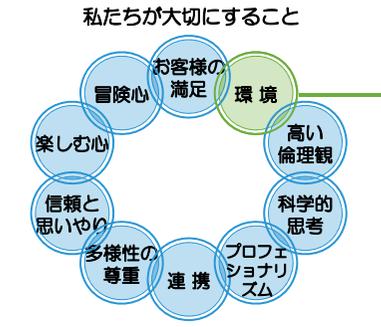
環境ビジョン

私たちが目指すもの

知の創造と活用をすすめる環境の構築

世界の相互信頼と文化の発展への貢献

一人ひとりの成長の実感と喜びの実現

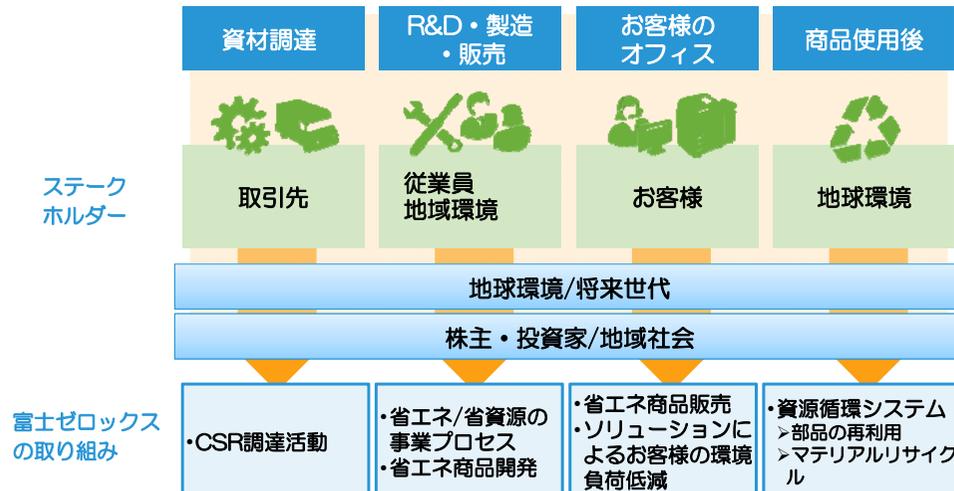


エコロジー&セーフティビジョン

富士ゼロックスおよび関連会社は、環境との調和を最大限に尊重した活動を事業のあらゆる側面で展開し、安全で環境にやさしい商品・サービスおよび情報を提供することにより、**お客様や社会の環境保全活動に貢献することにおいて世界のトップレベルを実現する。**

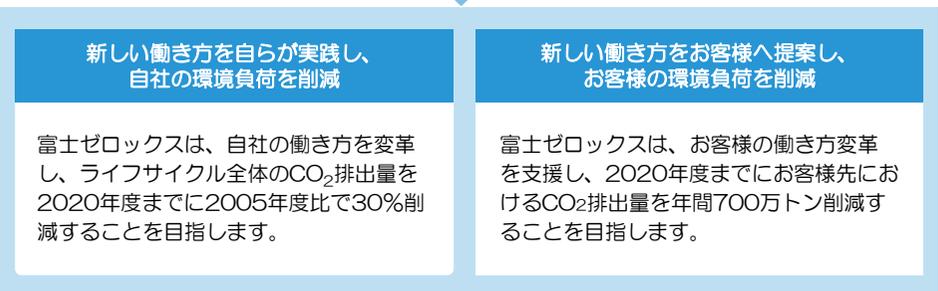
環境への取り組み

資材調達から商品使用後に至るまでの活動の全てのプロセス(製品ライフサイクル)を責任範囲としてとらえ、環境負荷低減と価値創造を同時に実現することを目指しています。



地球温暖化/気候変動に関する目標

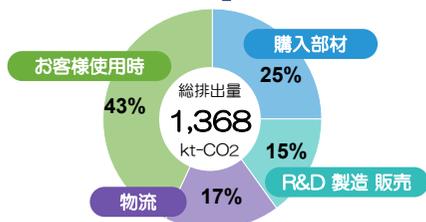
2020年環境経営目標 (2009年制定)



環境経営目標達成のための重点項目

- 1 お客様ご使用時の環境負荷を限りなく低減する商品の開発と普及
- 2 サプライチェーン全体を含めた低炭素なものづくりの仕組み構築
- 3 お客様オフィスの環境負荷を削減するソリューション・サービスの提供
- 4 新しい「働き方」を可能にするコミュニケーション技術の開発

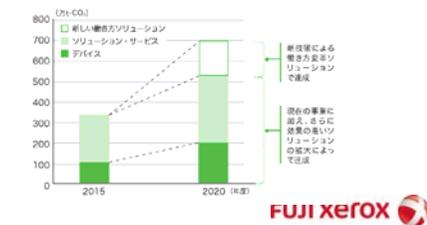
ライフサイクルCO₂排出量（2015年度）



© 2017 Fuji Xerox Co., Ltd. All rights reserved.

12

お客様先CO₂削減貢献量（2015年度）



富士ゼロックスの取り組み事例

© 2017 Fuji Xerox Co., Ltd. All rights reserved.

13



富士ゼロックスの取り組み事例のご紹介

環境経営に関する一般的な悩みごと

継続的な取り組みの限界

改善効果が年々減少していく問題

事業と環境貢献の乖離

環境への取り組みが、事業の妨げ、余計な業務に見えてしまう問題

新たな施策の欠如

施策・アイデアの枯渇問題

環境経営の風土化

社員の意識が高まらない、活動が盛り上がらない問題
ISO新規格（紙ゴミ電気 ⇒ 事業目的との一致）

富士ゼロックスの事例

事例① 発想の転換

事例② 本業を通じた環境貢献

事例③ 他社との協業

事例④ 全社運動・風土化

事例⑤ 地域との共生

© 2017 Fuji Xerox Co., Ltd. All rights reserved.

14



富士ゼロックスの取り組み事例① 発想の転換（省エネ製品の開発）

省エネ大賞を過去13回（業界最多※）

1999年	DocuColor 1250シリーズ
2000年	DocuPrint C2220
2001年	DocuCentre 507/607/707シリーズ
2002年	DocuPrint 181/211シリーズ
2003年	DocuPrint C2425/C2426
2004年	DocuCentre Color a450/f450 CentreWare Flow Service
2005年	ApeosPort/DocuCentre C7550シリーズ
2006年	DocuPrint C3050
2007年	DocuPrint C1100
2008年	ApeosPort-III/DocuCentre-IIIシリーズ DocuPrint C2250/C3360
2009年	ApeosPort-IV/DocuCentre-IVシリーズ
2012年	ApeosPort-IV/DocuCentre-IVシリーズ
2015年	ApeosPort-V/DocuCentre-Vの4機種

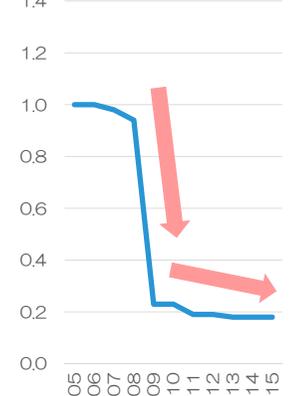
●カラープリンター ●カラー複合機 ●モノクロ複合機 ●モノクロプリンター

※ 2016年1月1日現在

機器の省エネ性能改善は頭打ち

カラー複合機（分速40枚）の
TEC値の推移

※ 2005年を1とした場合の改善度合い



※ TEC値 概念的な1週間の消費電力量
自動車の燃費のように製品間の比較ができる

© 2017 Fuji Xerox Co., Ltd. All rights reserved.

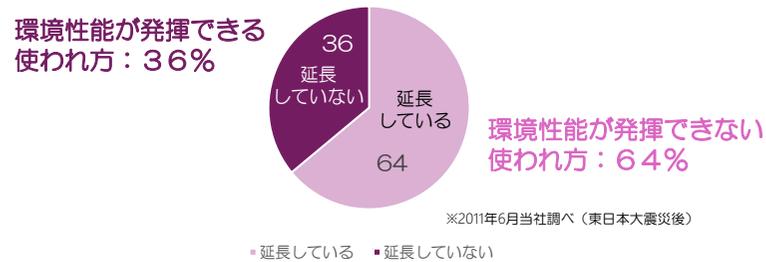
15



富士ゼロックスの取り組み事例① 発想の転換（省エネ製品の開発）

多くのお客様が使い勝手の悪さから、スリープモードを生かしていない
（カタログ上の省エネ性能が発揮されていない）

機械のスリープ移行時間を延長している割合

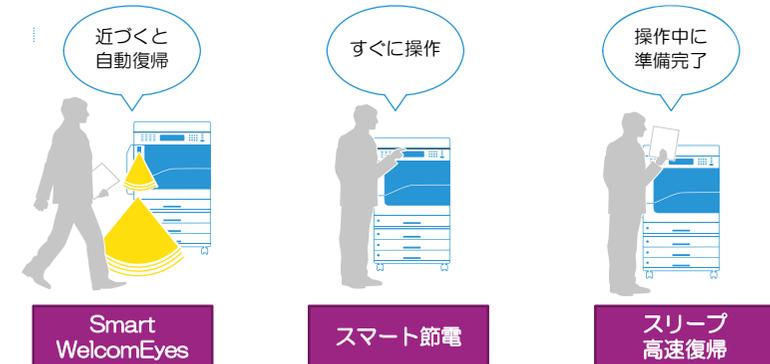


→ カタログの省エネ性能を上げるだけでは、
お客様の環境負荷削減に十分貢献できない

富士ゼロックスの取り組み事例① 発想の転換（省エネ製品の開発）

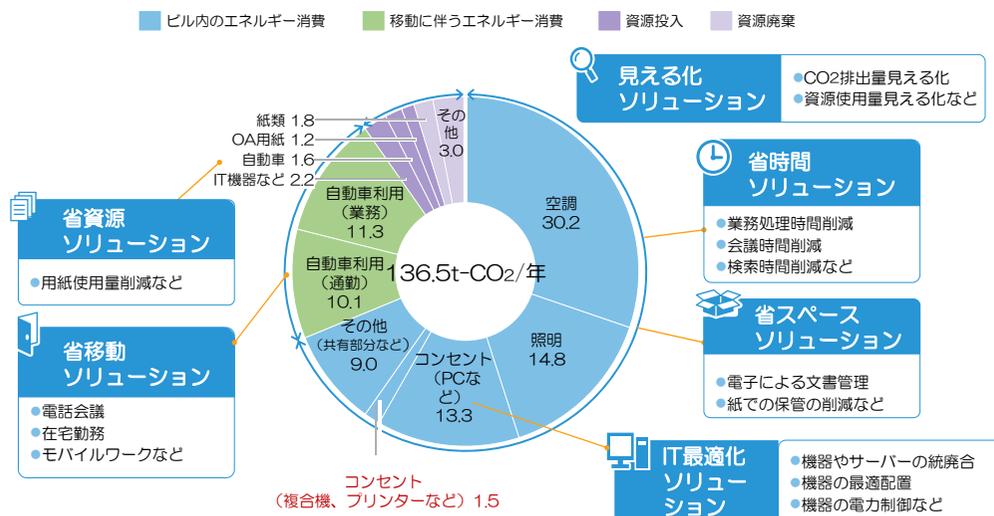
お客様視点に立ち、技術の組み合わせで「体感待ち時間ゼロ」を実現
ストレスを感じることなく、高い環境性能をフルに生かすことが可能に

スリープモードでもお客様の業務効率を下げない体感待ち時間ゼロという新たな発想
快適操作と高い環境性能を両立する真の省エネ：「我慢のエコ」から「快適なエコ」



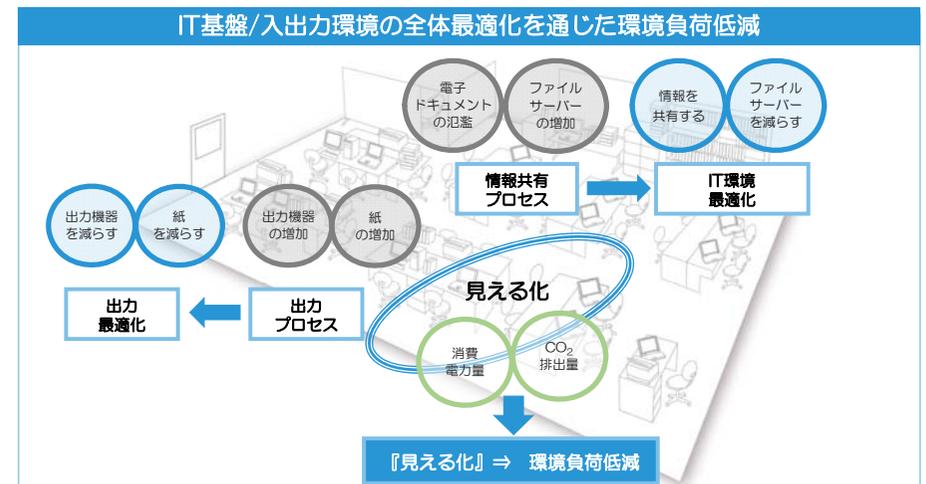
富士ゼロックスの取り組み事例② 本業を通じた貢献（働き方変革）

オフィス（従業員50人）の平均的なCO₂排出量と当社のソリューション



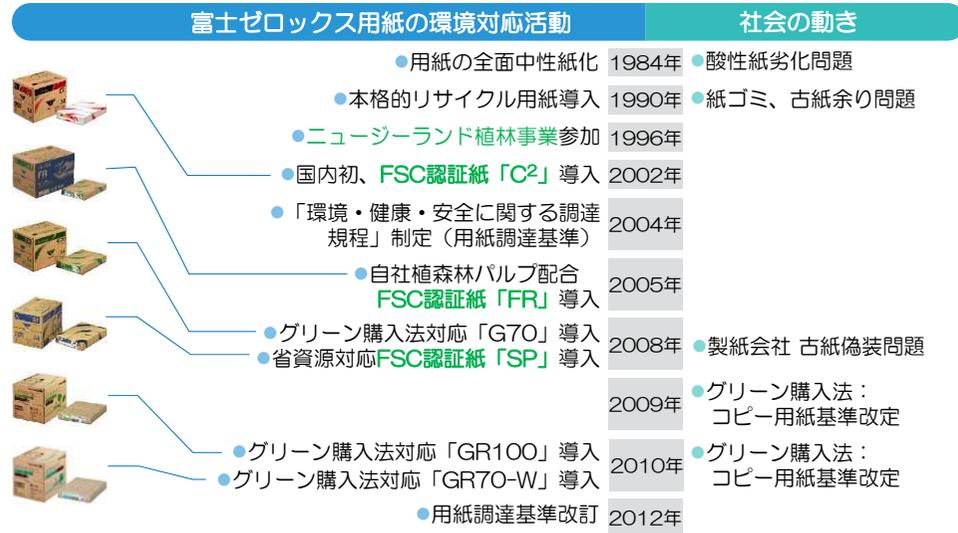
富士ゼロックスの取り組み事例② 本業を通じた貢献（働き方変革）

急速なIT化により、PCやサーバー、プリンターなどの機器が増加し、消費電力量の増加や紙の使用量増加など、環境負荷を増大させています。当社は分析に基づく最適なIT環境のご提案を通してオフィスの環境負荷低減に貢献しています



富士ゼロックスの取り組み事例② 本業を通じた貢献（持続可能な用紙調達）

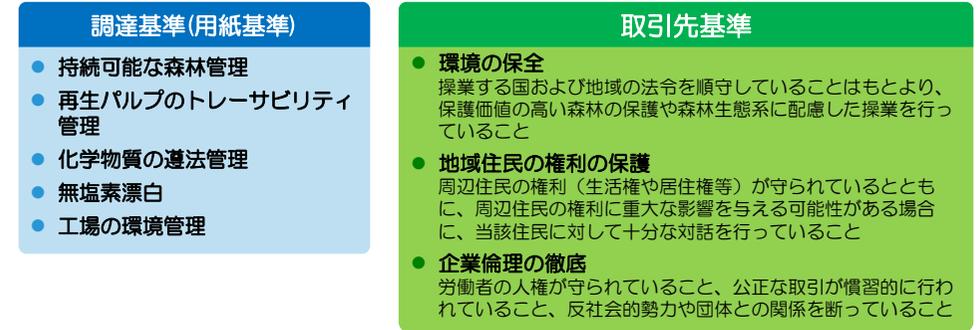
富士ゼロックスは、創立時から現在に至るまで社会環境の変化への対応とあるべき商品の姿を目指し、用紙の開発と環境保全に向けた活動を続けています。



富士ゼロックスの取り組み事例② 本業を通じた貢献（持続可能な用紙調達）

2004年制定の調達基準に基づき、用紙について取引先企業に毎年調査を実施してきました。

2012年5月に用紙調達基準を改定し、「環境」「地域住民」「企業倫理」などCSR観点の基準を定め、基準を満たした企業からのみ、用紙を調達することを義務付けました。



調達基準に基づき、調達先企業の遵守状況を毎年調査し、その結果を経営層が参加する会議で確認しています。

⇒遵守状況に問題がある場合には、経営層が取引停止も含めて判断します。

富士ゼロックスの取り組み事例② 本業を通じた貢献（Trust-Eco）

通常のシュレッダーによる細断では、紙の繊維が切断されているため再資源化が難しく、ほとんど焼却/埋め立て処理されているのが実状です。一方、Trust-Eco 1500の「ひきちぎり破碎方式」では紙片周囲の繊維が長く残ります。そのため再生紙としてリサイクルしやすくなります。

Trust-Eco 1500の「ひきちぎり破碎方式」



Trust-Eco 1500の紙片拡大図（繊維が残っている）

従来のシュレッダーのカット形状



ライン状にカットされた紙片拡大図（繊維が切れている）

平成28年度 3R推進功労者等表彰において、「3R推進協議会会長賞」を受賞しました！

富士ゼロックスの取り組み事例③ 他社との協業（自社のみの限界）

汎用小型環境センサーをオフィス内に複数台設置し、温度、湿度、気圧、CO₂濃度、照度、紫外線といった情報に加え、ウェアラブルセンサーによるオフィスワーカーの人流情報をオフィス内に設置された複合機で収集、蓄積

さらに、他のオープンデータ等を統合、可視化するシステムを通して、取りまとめた情報をモニタリングする事により、きめ細かい空調・エネルギー管理、運用保守、新規サービスの創出に役立てる実証実験

弊社 横浜みなとみらい事業所 お客様共創ラボラトリーで実証実験中





Xerox、Xeroxロゴ、およびFuji Xeroxロゴは、米国ゼロックス社の登録商標または商標です。